

第1回長浜港内港埋立事業基本計画検討会

日時：令和5年7月21日（金）

18：30～

場所：大洲市長浜ふれあい会館

4階大ホール

長浜港周辺利活用基本構想（案）に対し、委員の皆様から次のような意見が出されました。

委員1	<ul style="list-style-type: none">・できるだけ早く事業を実施してもらいたい。・ドライブだけではなく買い物もできる商業施設を導入してほしい。
委員2	<ul style="list-style-type: none">・埋立地を2メートルほど嵩上げし、今の環境緑地の駐車場くらいの高さにすれば防災面の効果が出てくる。・漁協と埋立地の間にある市の土地も有効活用できないか。
委員3	<ul style="list-style-type: none">・埋立地から海が見えない。海の町で海が見えないのは無意味だと思う。・道の駅を一つのハブと考えて、ここを拠点に長浜の街をいろいろと散策してもらいたい。・漁協で競り市したときに魚が買えるなど、漁協の駐車場と埋立地を繋ぐ道を考えてもらいたい。
委員4	<ul style="list-style-type: none">・海水のお風呂、海水を利用したスパやサウナなど海を活かした施設があればいい。・せっかく海があるので、高い建物を造って景色のいい場所に図書館等を作るなど何か特徴的なものがあればよい。・行政が積極的に水族館に関係のある企業に声をかけていくなどのアクションをとってほしい。・長浜高校と協力関係をとりながら、長浜高校水族館部が研究する設備を設けるなどしてほしい。
委員5	<ul style="list-style-type: none">・一応考えられるものは全て取り込んでいると思う。・道の駅を中心としたものにしないといけないと思う。
委員6	<ul style="list-style-type: none">・大型車が駐車できるスペースを確保してほしい。・環境緑地が有効活用できるようにしてほしい。
委員7	<ul style="list-style-type: none">・釣り人のためにきちんとした釣りができる施設があればいい。・オートキャンプ場などレジャー施設として環境緑地が使えるようになればいろいろなことができる。・ヨットハーバーのようなものはできないか。
委員8	<ul style="list-style-type: none">・子供や車に乗れないお年寄りも埋立地に行きたくても誰かに連れて行ってもらわないと行くことができない。公共交通を充実してほしい。

委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜の「みなと」の二番煎じという感じがする。 ・商業施設があれば雇用が生まれ人が集まる。人が住むようになれば子供も増える。長浜は子供が凄く減っているのでそのようなことを踏まえ埋立地の利用を考えたらよいと思う。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の大きさが中途半端である。大きな道の駅を造って、それを中心に活用するというなら分かるが、埋立てありきで何かを造らないといけないような感じである。 ・道路の南側は広場、公園、駐車場といった空き地である。何かもったいない気がする。 ・経済効果も考えないといけない。本当に儲かる事業なのか、集客力のある道の駅を造ってもらわないと意味がない。
検討会会長	<p>【道の駅について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅は今、第三世代と言われており、第一世代は90年代初期に道の駅が整備され始めたころにトイレや情報提供、食べ物を売る場所であった。 それが第二世代になると道の駅に行くことが目的となる巨大な施設となる。このようなタイプは前面道路にある程度の交通量が必要。 そして第三世代は地域の核として道の駅を活用してもらおうようなタイプである。地域の活動と一緒に連携できるような場所にするなど付加価値を付けていかないと道の駅として整備できないのではないかとされている。 埋立地の前の国道も交通量があるとはいえ、トラックなどが多い。そういう状況で非常に大きな道の駅を整備して、勝負に出るといってもかもしれないが、リスクを考えるとなかなかしんどいなという気がする。 <p>【スポーツ・レクリエーション用地について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション用地についても誰が使うかである。例えばサッカーといったときにどこの誰が使うのか。具体的に紐づけができていない場合は、こういう空間を造る意義もあるが、地方都市においてよくやってしまうのが、何となく造って使われないうまま朽ちていくことが多い。利用者との紐づけというものを十分に検討していく必要がある。 <p>【景観について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜の「みなと」がどこを見せたいかというミカンの山々。海があってその向こう側にミカンの季節になると点々とオレンジが見えるミカンの山を見せたいということであの空間ができた。長浜だとピンポイントでどこの海が見せたいとか、どこの海が一番長浜が誇るべき景観なのか。海が近いから全部海ですとなるとポイントがぼやけてしまう。

【公共交通について】

・道の駅を拠点としたような施設だけではなく、公共交通の拠点として使う事例も最近増えてきている。

今治市ではモビというシステムを導入している。市内に乗り降りができるポイントを設置し、スマホで予約をしてタクシーで目的のポイントまで連れて行ってくれる。一月 5,000 円で乗り放題のシステム。契約者の家族は 1 人につき 500 円追加することで利用できるようになる。小学生 1 人でも利用できるのも塾に行く際に両親が仕事でも 1 人で行って帰ってくる事ができる。

あと 10 年経てばそういったテクノロジーも変わってくると思うので、そういった観点でも広域の方が利用できるような施設というものを目指していくことができればと思っている。

【商業施設について】

・商業施設に進出してもらおうと思うと、人口集積がないと最近難しい。では人口集積がないところはどういう風にやっているかという、高知県の山にある施設（高知県津野町「遊山四万十せいらんの里」）では地域のおばあちゃんや女性の方がレストランをされている。レストランでご飯を作っているところを見せるというようなことを売りにしていて、宿泊もできるようになっているが、半年間満杯というような状況である。

そのようなことをすることによって、今まで自分のためにご飯を作っていたが、他の人のためにご飯を作ることによりやりがいを感じているということである。長浜でもそのような可能性がもしあるのであれば、レストランとかそのようこともできるのではと思う。

全部民間に任せてしまえと言う話になると悲観的である。民間の大手事業者アンケート調査をしているということだが、人口規模でとか、年齢層とかでマーケティングをされてしまうとかなり厳しい状況だと客観的に思う。それをいかにクリアしていくのかというのが、長浜地域の町の底力を見せるべきなのかと思う。